

＝新しい歴史の創造へ＝

12月21日花矢町編入による新大館市がスタート



青森県

田代町



市制施行16年を迎えた本市であるが、その間、多くの出来ごとがあった。近隣1町5村との合併、3度の大火そして復興等は、まだ記憶に新しいものがあります。

しかし、12月21日に起きた花矢町の編入による新大館市の誕生は、新しい歴史が始まる記念すべき日となることでしょう。

人口77,855人、面積401.02Km²、そして日本最大の黒鉱鉱床を持つ新大館市は、県下第2の都市として、夢多き将来へのビジョンをいだきながら限りなき躍進に向う、第一歩をふみ出す日でもあるからです。

すなわち、新しい歴史の創造でもある新大館市の建設に夢と希望を持ち、皆んなで手をとりあって理想的なまちづくりに進もうではありませんか。

8万市民の福祉向上を第一に

花矢町の編入合併により、ここに歴史的な新大館市が誕生いたしますことは、皆さんとともに心から感激に絶えません。

ご承知のとおり、わが大館市と花矢町は、古くから地勢、交通、経済面において共通するところが多く、また両市町民の間にも広範囲にわたる交流もあって、深いつながりのもとに歩みつけて参ったのであります。

このような観点から、21日をもって、ここに念願の合併が達成されますことは、両市町の議会および住民各位の絶大なご理解とご協力の賜と、心から感謝申しあげる次第です。

広域行政による住民の福祉向上は時代の要請であり、私は市長就任と同時にこの必要性を強く感じていたところでありますが、今回の合併を機に8万市民の幸福を期し、明るく、住みよい新大館市の建設に全力を傾注すべく、心を新たにその任にあたる覚悟であります。



幸いにして、両市町の経済的基礎である黒鉱開発と農林業は飛躍的な進歩をみせており新大館市の将来は明るいものがありますが、今後さらに商工業の発展をはかると共に、適度な文化施設、環境施設等を充実し、市民が健康で豊かな生活を営むことができる近代都市を築きあげたいと、念願しております。終りに、合併にご協力くださいました、両市町の議会議員はじめ合併協議会の委員、そして両市町民の各位に対し厚く謝意を申しあげるとともに、近代都市の建設に市民の皆さんの心強いご支援をお願いしたいと思います。

大館市長
石川 芳 男

鷹巣町

比内町

鹿角郡

合併までの経緯と新市の方向



(写真) 合併協議会

合併の主因

最近におけるわが国の産業経済の発展に伴い、水、道路、公害、交通等に対する行政は、市町村の区域をこえより広域的にしかも総合的に行なう必要性がでてきた。そのためには、それぞれの自然的、社会経済的条件を考慮し、新しい行政需要を充足できるような規模能力をそなえた自治団体にきりかえ、効率的な行政運営のもとに地域住民の福祉向上をはかることが急務とされる時代となりました。

このことから、昭和40年3月「市町村の合併の特例に関する法律」が制定され、市町村行政の広域化の要請に対処し、市町村の合併が円滑に進められるように、国の配慮がなされたのです。

大館市と花矢町の関係をみた場合、交通、経済、社会など、いろいろな面で緊密なつながりがあることは誰れしもが理解しているところであります。

まず、両市町民は地勢的条件の中で共通した経済意識のもとに生活を営んでいること、交通の便利さからくる消費生活の関連性、さらには、通勤通学者の本市への集中等からみても、いかに同じ生活圏下にあるかがおわかりのことと思います。

このたびの合併は、こうした類似点を多く持つ両市町民の調和により、広域的な視野にたつて、行政水準の向上をはかりながら、8万市民の福祉向上をねらいとするものです。

合併に至るまでの経緯

1. 合併協議会設置までの経緯

以上の観点から以前から合併問題が両市町の間で話題になっていたのですが、その突破口を開いたのは、さる9月13日に開かれた、両市町議員による広域行政に関するこの談話会であった。

席上、両市町の早期合併についての発言があり、この発言を機に本格的な合併促進ムードが台頭したわけですが、合併ムードの盛り上がりによって、この談話会が開かれた4日後、両市町的首脳部と知事との談話が市役所でなされました。いわゆるトップ会談とでもいえる。この会談には、市からは、石川市長、太田部議長、花矢町からは、山本町長、安部議長が出席し、小畑知事をまじえ合併について意見を交換した。(写真右)

この会談では、花矢町の要望が主に話され、継続事業の問題、白沢営林署存続問題等については、知事から厚意ある回答を得、その他の問題についても5者間の意見が一致した、と発表された。

そのご、両市町の合併ムードは日増しにもり上がり、市においても合併事務促進の打合せ会を開いたり、市議会全員協議会で検討するなどして、合併促進のため積極的な取り組みに入ったわけでした。

そして、10月2日、ついに両市町の公式的な話し合いの場である「大館市、花矢町合併協議会」が両市町の議会で可決され、石川市長を会長とした両町あわせて69名の協議会が正式に発足し、具体的な検討に入ったのです。

2. 合併協議会での協議事項

合併協議会の構成は、総員69名でこの内訳は、花矢町＝町長、議員25名、学識経験者3名、職員5名、計34名

大館市＝市長、助役、議員25名、学識経験者3名、職員5名、計35名

で石川会長を中心に、21項目にわたる諸問題を真げんに協議しました。

(協議会の開催日程)

第1回—10月12日 第2回—10月18日
第3回—10月28日 第4回—11月4日

以上、4回にわたった協議会は、終始なごやかなムードにつつまれた中で話し合いがなされ、つぎのとおり意見の一致をみたのです。(紙面の関係上一部省略)

- 合併の形式＝編入合併
- 議会議員＝合併の特例に関する法律を適用し、花矢町の議員は全員大館市の議会の議員として在任する。
- 農業委員会の委員＝花矢町農業委員会の選挙による委員は全員大館市の農業委員会の委員として在任する。
- 特別職の職員
 - (1)教育委員—花矢町の教育委員会を廃止し、委員については特別な救済措置はとらない。
 - (2)選挙管理委員—花矢町選挙管理委員会は廃止する
 - (3)監査委員—大館市の定数は、議会選出および学識経験者各1人となっているが、学識経験者1人を増加し、定数3人とし、花矢地区から選任する。
 - (4)選任による農業委員—花矢町の農業委員会は廃止する。選任による委員については特別な措置はとらない。
 - (5)固定資産評価審査委員—花矢町の委員会は廃止する。委員については特別な措置はとらない。
- 一般職員＝花矢町の全職員を大館市の職員として引きつぐ。給料、手当等の待遇は低下をきたさぬようにする。
- 税＝
 - (1)民税—花矢地区については、不均一課税をすものとし、個人の均等割は42年および43年度から3か年度は現行の200円とする。
 - (2)法人均等割—現行どおりとする。
 - (3)国民健康保険税—民税と同様、3か年間は現行どおりの割合とする。(4)その他の税—42年度は現行どおりとし、43年度から大館市の税率とする。
- 合併後の機構—現在の花矢町役場を支所とし、矢支支所を矢立出張所とする。また、支所、出張所で扱う窓口事務は現行どおりとする。
- 財産—一切の財産は大館市に引きつぐものとし、一切の権利義務も大館市に承継するものとする。ただし町有の山林、原野等についてはつぎのとおりとする。
 - (1)鉱山貸付地のうち、現在鉱山で使用している部分および使用地の近接地で、近い将来使用見込みの部分約100ヘクタールは鉱山に売り渡す。
 - (2)町直轄林
 - 基金条例を設定し、収入金を充当する分210.82ヘクタール。
 - 農畜の部落に無償で払下げる分16.36ヘクタール。
 - (3)各部毎に生産利用協同組合を結成させ、これに所有権を移転する分、1.934.22ヘクタール。
- 消防団および消防施設—消防団については、花矢町地区をもって地区隊を設け、団長以下現在の消防団員全員を大館市の団員とする。また、各分団配置等については現行どおりとする。
- 小中学校の学区—花矢町の学区をそのまま大館市の学区とする。
- 教育施設—現有施設は現行どおり存続する。ただし公民館は花矢町公民館を地区館とし、白沢分館はそのままとする。
- 厚生施設—保育所、診療所、じんかい焼却場等は現行どおりとする。
- 公共団体—花矢町農協はも来、大館市農協に合併するようにつとめる。
- 継続事業—花矢町において予算に計上し、実施中または計上している事業で、未完のものは大館市に引きついで完了させる。
- 協定事項および要項事項＝協定事項については履行する。要項事項については、その趣旨にそい、実現につとめる。

3. 合併の議決

花矢町側の要望を十分に組み入れた中で、合併協議会における協議事項も円満に解決し、それぞれの議会にはかる機運までに至った。

まず、花矢町臨時議会は11月10日。そして、13日には本市の急務臨時市議会が開かれ、「町を廃止し、市に編入する処分を知事に申請することについて」

「町を廃止し、市に編入することに伴う財産処分の協議について」

「町を廃止し、市に編入することに伴う経過措置に関する協議について」

の3件を両市町議会とも賛成多数で可決し、ここに懸案の合併問題に終止符をうったのであります。この両市町の議決によって、24日開かれた県議会の議決をもとに知事が処分しこれを自治大臣に申請、官報の告示によって12月21日待望の新大館市が正式にスタートすることになるわけです。

あすへの構想

さて、合併による新市の設計図を紹介してみよう。

市と花矢町との間で作成された「大館市建設計画書」は産業、教育、建設等に、多岐にわたる具体的な方向がうたがわれている。紙面の関係で具体的にお伝えすることができないのは残念であるが、今後の広報紙で順次お伝えしご理解を得たいと思う。

まず、新市建設の基本方針であるが、「地下資源の開発と豊富な農林生産を基盤とした鉱、工、商業の発展による経済の充実強化と、住民の生活水準の向上を中核とし、道路交通網の整備等により、住民の協和と福祉の増進を図る」、という方針のもとに、具体的な未来像をえがきだしている。

財政計画については、今年度から47年までの推計がだされこの計画年次別の才入総額とはつぎようになる

42年度	16億6,012万7,000円
43年度	17億7,761万1,000円
44年度	19億6,917万5,000円
45年度	22億3,104万2,000円
46年度	25億5,814万8,000円
47年度	28億9,598万8,000円

このような大型予算のもとで計画された事業は多様なものがあり、年次別のおもなものとしては、

- 42年度＝住宅建設・大館駅、東大館線街路、前田児童公園・花中校舎改築・城南小改築事業ほか11事業
- 43年度＝公園の新設・消防施設の整備・林業構造改善・本郷簡易水道布設・学校給食共同調理場新築・農業構造改善事業など25事業
- 44年度＝公営住宅建設・花園幼稚園舎改築・林業構造改善・公園新設事業など21事業
- 45年度＝小中学校プール新設・公営住宅建設・公園新設・二井山地区簡易水道事業など19件
- 46年度＝公営住宅建設・一般林道新設・橋前地区簡易水道布設・公園新設事業など17事業
- 47年度＝小中学校プール新設・公営住宅新設・小中特別教室増設・消防施設整備・都市計画事業・林道事業等など11事業

以上はある一部でしかすぎないが、この建設計画書では、多くの単独事業のほか病院、観光、交通等にも意欲的な計画をたて、8万市民の幸福に向けて、計画の実現を約している。

ひとりひとりが幸福になるためには、皆んなで手をとりあい、大きな力で未来への夢と希望を待とう。この第一歩が今年実現されたのです。住民福祉の向上を第一目的とした大館市の建設をめざして……

花矢町の沿革

花矢町は昭和30年3月1日に、旧花岡町と矢立村との合併によって誕生した。
 「鉱山の町花矢」はあまりに有名なが、私たち市民にもなじみの深い、日景温泉、矢立温泉、長走風穴、矢立峠など、豊かな景勝地を有している町としてもその名が知られている。

むかしの花矢地区は浅利氏の領土であったが(天文の頃)、浅利氏が亡くなってからは秋田氏に変わり、慶長7年、佐竹義宣氏が常陸から秋田に遷封されるまで秋田氏の統治下にあったといわれている。

そのこの花矢地区は、260余年にわたって、佐竹氏の封建下にあったが、明治4年、廣瀬慶胤によって、現在の花矢地区は、花岡、白沢、長走、粕田、橋桁の5か村となってそれぞれ戸長役場が設けられていた。

そして、明治17年7月には白沢外3か村(長走、粕田、橋桁)が合併、さらに明治22年の市制、町村制度の実施により、花岡村と矢立村はそれぞれ自治体としての制度をした。鉱山開発の発展もあって、昭和7年には花岡村が町制をしき、30年の矢立村との合併によって現在の花矢町が誕生したというのが、花矢町のおおよその沿革である。

このような歴史を持つ花矢町であるが、この花矢を語るに花岡鉱山の歴史を忘れてはならない。なぜなら現在の花矢町は鉱山の発展とともに歩んできた町でもあるからです。

ここで、花岡鉱山の若干の歴史についてふれてみましょう。

花岡鉱山は明治18年、地元の浅利藤松、藤盛常吉、

富山万之進、藤盛貞吉の4氏によって発見された。この4人が発見したのは土鉱で炭質、観音下、石仏などに露頭としてあったといわれ、これを小坂鉱山や真木鉱山で分析してもらったところ、銀分が相当多いことがわかり、花岡の鉱山が急に評判が高くなった。このため、鉱区の出願に競争者が現われて激しいせいを演ずることとなったが、浅利氏は小坂鉱山と打ち合せのうえ、久原庄三郎の名義で出願したが、ほかに池田孫一氏と横山勇喜氏(大館の人)との3者の間に村民の支持を獲得する猛運動が展開された。その結果、横山氏が競願に勝ち、田口卯吉と共同して許可を受け、明治21年から横山氏らの代理人である古内忠治、望月二郎の両氏が操業を始め、小規模ながら銀製錬場を設けて開発を進めた。しかし、中心の堤沢鉱床を掘り進むにつれ、硫化鉄鉱となり含銀率の低下から経営困難になったので田口卯吉氏は手を引き、結局明治26年以降、10年間も廃山となった。

そして、明治37年、石田兼吉氏(石田博英氏の祖父)が横山氏から譲り受け、堤沢の旧坑を取り明けて硫化鉄鉱の採掘操業を開始した。これ以来、花岡鉱山は一度の休廃山もなく現在にいたっている。

石田氏の以後、同鉱山の経営は、東京の小林精一郎氏(明治44年2月)から藤田組(現在の同和鉱業の前身)で、昭和20年12月に現在名に変更)に移り、戦時戦後の苦難の道をのりこえ、現在みるような姿に発展してきたわけであるが、このかげには、新鉱床の発見にも起因するものがあるものの、新技術の導入、経営の合理化等に絶えず努力をつづけてきた会社側の近代的な経営方針がその根本にあったからだと思う。

このような鉱山の流れとともに、その苦楽を同じくしてきた花矢町ではあるが、現在は山あり、川あり、温泉あり、そして明るく、豊かな町として成長してきたのです。

名所旧跡

<矢立廃寺跡>

約650年前、後醍醐天皇の重臣、藤原藤房卿が世にのがれて仮住まいしたところと伝えられている。昭和40年、岩手大学板橋源教授らの調査の結果、鎌倉期の禅宗伽藍跡と推定された。

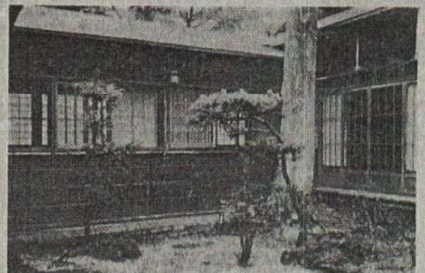


<長走風穴と高山植物群落地>

陣場駅から南に2K、国道7号線のそばにある。海拔160メートルにすぎないが、四季を通じて地表温度が6度4分から零下5度1分程度で、盛夏でも冷風が吹き出るといふ不思議な場所である。また、この地には歐亞植物区系の高山植物が群生しており、国指定の天然記念物としても学術上貴重な地でもある。

<鳥潟会館>

もと、京都大学名誉教授故鳥潟隆三氏の邸宅、現在は同氏から町に寄贈されているが、京風の庭園と明治以前の旧家の風趣をもつこの邸宅は県内随一と称されている。



<矢立温泉>

別名赤湯ともいい、天然杉の美林にかこまれた矢立温泉の美観は古くから人の知るどころ。リウマチ、皮膚病、神経衰弱などに効めがある。



<釈迦池>

花矢と市内商人留との境にあり、この周辺では一番大きな沼である。白沢駅から1.5km、商人留から2kmという、比較的近い所にあるため、夏にはハイキングやキャンプなどでにぎわっている。

花矢町の著名人

<鳥潟右一>…工学博士

明治16年花矢町本郷に生れ、花岡小学校から大分県立大分中学、開成中学、第1高等学校を経て明治39年東京帝大の電気工学科を卒業する。その後、無線通信の研究に従事し、いろいろな発明や改良につくした。なかでも明治45年に発明した「TYK無線電話機」の発明は、その技術の優秀さを世界に認めさせた大発明として賞さんされた。大正10年「世界に誇る日本の頭脳」として惜しまれながら世を去った。行年41才。

<鳥潟隆三>…医学博士

氏は、花岡小学校卒業ご、大分中学、ドイツ協会学校を経て第一高等学校を卒業、明治37年京都帝大医学科を卒業した。卒業ご、母校にとどまり学究の途に入り、煮沸免疫コクチゲンやその他数多くの発明、研究を完成した医学者で、当時、京大に鳥潟外科ありとして名声をうたわれた名医でもある。博士は郷土にもつきし、本郷地内の用水堰改修、永年にわたる伝染病予防ワクチンの寄贈など町民の保健につくした。現在まさに寄贈されている「鳥潟会館」は博士の邸宅でもあった。昭和27年74才で死去す。

<鳥潟小三吉>…曲芸家

本名、幸之助、天保13年花岡に生れた。幼少から曲芸の才があり、15才のとき東京にで、そのご大阪におもむき軽業師として技をみかいた。24、5才のころ欧州に渡り、同僚の死ご屋長として各地をまわり、ドイツの警察署長の長女と想思の仲となりめでたく国際結婚した。帰国ごは各地を巡業、曲芸師鳥潟小三吉の名声は全国津々浦々まで知られた人である。明治42年10月15日68才で病死す。

<山本達治>…工学博士

明治37年7月5日、花岡字姥沢に生れる。センドスト合金の発明者で、千葉工大、日大教授などを歴任した工学博士、現在は大日本特殊金属KKの経営者である。

<伊勢正義>…洋画家

明治40年2月28日生れ。東京美術学校西洋画科を卒業、現在、新創作協会の会員として創作に活躍中である。焼出出身。

花矢町の



紹介

<日景温泉>

陣場駅からバスで10分。明治26年開場以来「3日ひと廻り」の名湯として知られている。慢性神経痛、リウマチス、痔、皮膚、外科手術の回復、血行器障害などに効きめがある。



花岡小唄

花に行き暮れ 大山越えて
見れば花岡 灯がともる
鐘が這うかとよくよく見れば
人がいたいた
霧天掘

お知らせ

成人式のお知らせ

43年の成人式は学合制で行なうことになりました。該当者は、昭和22年1月16日から23年4月1日までに生れた方です。

該当者の皆さんには、12月10日ころまでに案内状を差しあげますが、係の調査もれがある場合もありますので、12月12日までに案内状がとどかなかつた方は早やめに教育委員会の成人式係へご連絡ください。

看護婦の資格を持っている方へ

県内の病院や診療所では、看護婦と准看護婦の資格を持ちながら、家庭の事情などで、現在看護業務についていない方をさがしています。

勤務の方法によっては勤めもよいと思われる方は、ハガキに、住所、氏名、年齢、資格の種類をご記入のうえ、12月25日まで、秋田市山王4丁目、県庁、医務課事務課にご連絡ください。この届けがきますと県では調査票をお送りし、就業希望条件などについて調査し、希望者の再就職について便宜をはかることになっています。

12月の納税 固定資産税第3期.....12月25日まで

※市県民税、国保税の第3期分の納期が過ぎますが、まだ、納めていない方がおりましたら年内にお納めください。

※市税は、年末でも徴収課で取扱いしています。

桂城幼稚園で園児を募集

明年度の入園児をつぎのとおり募集しますので、入園希望のご家庭は、関係書類をそえて、桂城幼稚園(市内水門前124番地)へ申しこんでください。

(募集要項)

- 募集人員
 - 1年児40名(37年4月2日~38年4月1日までに生まれたもの)
 - 2年児120名(38年4月2日~39年4月1日までに生まれたもの)
- 募集期間
 - 42年12月1日~12月31日まで
- 身体検査およびテスト
 - 43年1月25日
- 入園者の発表
 - 43年2月5日 午前10時
- 申し込み用紙
 - 桂城幼稚園にあります。

昭和42年度 工業統計調査

12月31日現在で行なわれます。調査員がお伺いした際には、よろしくご協力ください。

年賀状を出すとき

年賀状を出すときは、「市内」と「その他」に分けて束ね、「年賀」と朱書した付せんをつけるか、封皮に入れるかして出しましょう。

お年玉年賀ハガキを1枚出すときは表面に必ず「年賀」と朱書することになっています。

また、12月22日を過ぎると、郵便局は年賀状が大変混雑しますので、年賀状はなるべく22日までに出してください。

無料結核検診を受けよう レントゲンカーがお宅の近くまで行きます

定期検診は、皆さんを結核からまもるため、精密検診から再検診までを無料で行なうものです。

15才以上の人はもれなく検診を受け、幸せな家庭をつくらうではありませんか。

※学生および5人以上の会社、事業所に勤務する人は受検する必要はありません。

◎ レントゲンカーの巡回日程

月 日	実施時間	実施場所	月 日	実施時間	実施場所
12月11日(月)	9.30~10.30	木材会館前	12月18日(月)	9.30~10.30	松沢砂利前
	10.50~11.20	原田製めん所附近		11.00~12.00	だるま食堂前
	11.30~12.00	第一生命附近		1.00~1.50	古神明社前
	1.00~1.30	教育会館附近		2.00~2.30	東 駅 前
	1.50~2.20	菅原製菓附近		9.30~10.00	池田歯科附近
12月12日(火)	9.30~10.30	小田切工場横	12月19日(火)	10.20~10.50	花 本 前
	11.00~12.00	五丁目町内中央		11.00~12.00	佐藤コンクリート附近
	1.00~1.30	大森商店附近		1.00~2.00	秋元医院附近
	1.50~2.20	寺岡ハカリ店附近		9.30~10.30	神明社附近
	9.30~10.00	米田商店附近		12月20日(水)	11.00~12.00
10.20~10.50	独 鈺 町 中 央	1.00~2.00	羽賀理容館附近		
11.20~11.50	川原町中央	9.30~10.00	横田ケース店前		
1.00~2.00	元保健所前	10.30~11.00	三菱石油スタンド附近		
9.30~10.30	市役所前	12月21日(木)	11.30~12.30		柳町公園横
11.00~12.00	城南保育園前		1.30~2.30	玉林寺附近	
1.00~1.50	青柳染物工場附近		9.30~10.00	片山アパート前	
2.00~2.30	市営住宅附近		12月22日(金)	10.20~10.50	城西町中央
9.30~10.00	税務所附近			11.20~11.50	小館町中央
10.20~10.50	住宅広場				
11.00~11.30	青柳教吉宅附近				
12月13日(水)	12.30~1.00	一心院寺前			
12月14日(木)	1.20~1.50	中村商店附近			
	2.00~2.30	柄沢町中央			
12月15日(金)					

ツベリクリンとBCGの接種もあります

対 象 者 昭和39年4月1日~42年3月31日までに出生者。
BCGの対象者 ツベリクリン反応が陽性および疑陽性の判定を受けた者。
料 金 無料です。
※母子手帳は必ず持参ください。

ツベリクリンおよびBCG接種日程

場 所	実 施 月 日		時 間	実 施 地 区
	ツベリクリン 接 種	判定および BCG接種		
市民体育館	12月5日	12月7日	午後 1.30~3.00	御成町、釈迦内、長木、下川沿、真中地区
市民体育館	12月6日	12月8日	午後 1.30~3.00	旧市内(御成町地区を除く)十二所、二井田、上川沿地区

NHKふるさとの歌まつり ご 案 内

NHKの人気番組としておなじみの「ふるさとの歌まつり」は大館市協賛のもとに、つぎのとおり開かれます。

日 時 12月17日 開演午後4時45分
(この日の録画は12月28日に全国放送)

会 場 市民体育館

出演者 倍賞千恵子、獅子てんや、瀬戸わんや宮田輝(司会)ほかに地元出演者

プログラム 大館ばやし、秋田万才、猿倉人形芝居、ハタハタ音頭、秋田音頭、男鹿のなまはげなどの郷土芸能

入場券の申込 往復ハガキに申込者(1人1枚)の住所氏名を書いて、12月5日までに「市内中城20大館市役所ふるさとの歌まつり係」に申し込んでください。抽せんによってははがきの半片を入場券として返送いたしますので、返信の宛先欄にも住所、氏名は忘れないようにしてください。

寝る前には必ず 火の点検を

火災シーズンを迎え、消防署では一丸となって火災予防につとめています。しかし、火の不始末から起る火災が相つぎ、10月末まで63件の火災が起っています。そこで、消防署では1人1人の注意をうながすため、つぎの注意事項を皆さんに呼びかけております。

これだけは必ず守って、ことしの冬は1件の火事も起きぬようにしましょう。

- 寝タバコとタバコの投げ捨ては止めよう。
- ねる前には火の元を点検しよう。
- プロパンガス、ボンベは
 - ※ボンベは直射日光のあたらない、風通のよい屋外におくこと。
 - ※使用後は元栓を完全にしめること。
 - ※室内は時々換気し、不完全燃焼のないようにすること。